

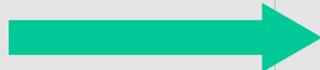
# 決算説明資料

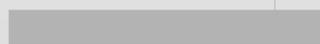
1Q FY2025



株式会社スカラ 2024年 11月 14日

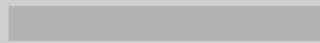
# CONTENTS

 **第1四半期 決算サマリー**

 **連結 業績報告**

 **セグメント別 業績報告**

 **トピックス**

 **APPENDIX**

# 事業構成

2024年9月期末時点

DX事業	 SCALA COMMUNICATIONS	株式会社スカラコミュニケーションズ	SaaS/ASPサービス関連事業、ソフトウェア・プロダクトの開発・販売・保守
	 株式会社エッグ	株式会社エッグ	国策事業、ふるさと納税事業、ヘルスケア事業、地域創生事業
	 SCALA SERVICE	株式会社スカラサービス	コールセンターサービス
	 Retool	株式会社Retool	クラウド活動管理ツールの企画・開発・販売
人材事業	 Athlete Planning	株式会社アスリートプランニング	人材採用(新卒採用)支援、学生向けキャリア教育事業
	 GearEmake	株式会社GearEmake	人材採用(中途採用)支援
EC事業	 SCALA PLAYce	株式会社スカラプレイス	トレーディングカードゲーム(TCG)のECサイト運営
金融事業	 NihonPet 日本ペット少額短期保険	日本ペット少額短期保険株式会社	ペットの少額短期保険業
インキュベーション事業	 SCALA	株式会社スカラ	投資事業
	SOCIALX	株式会社ソーシャル・エックス	官民共創プラットフォーム「逆プロポ」の企画運営、社会課題の解決を目的とした新規事業開発支援
	合同会社 SCLキャピタル	合同会社SCLキャピタル	投資ファンド運営
	SCSV1号投資事業 有限責任組合	SCSV1号投資事業有限責任組合	投資ファンド

# 1Q決算サマリー

単位：百万円

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績  
 ※四半期実績は全社費用等を含む

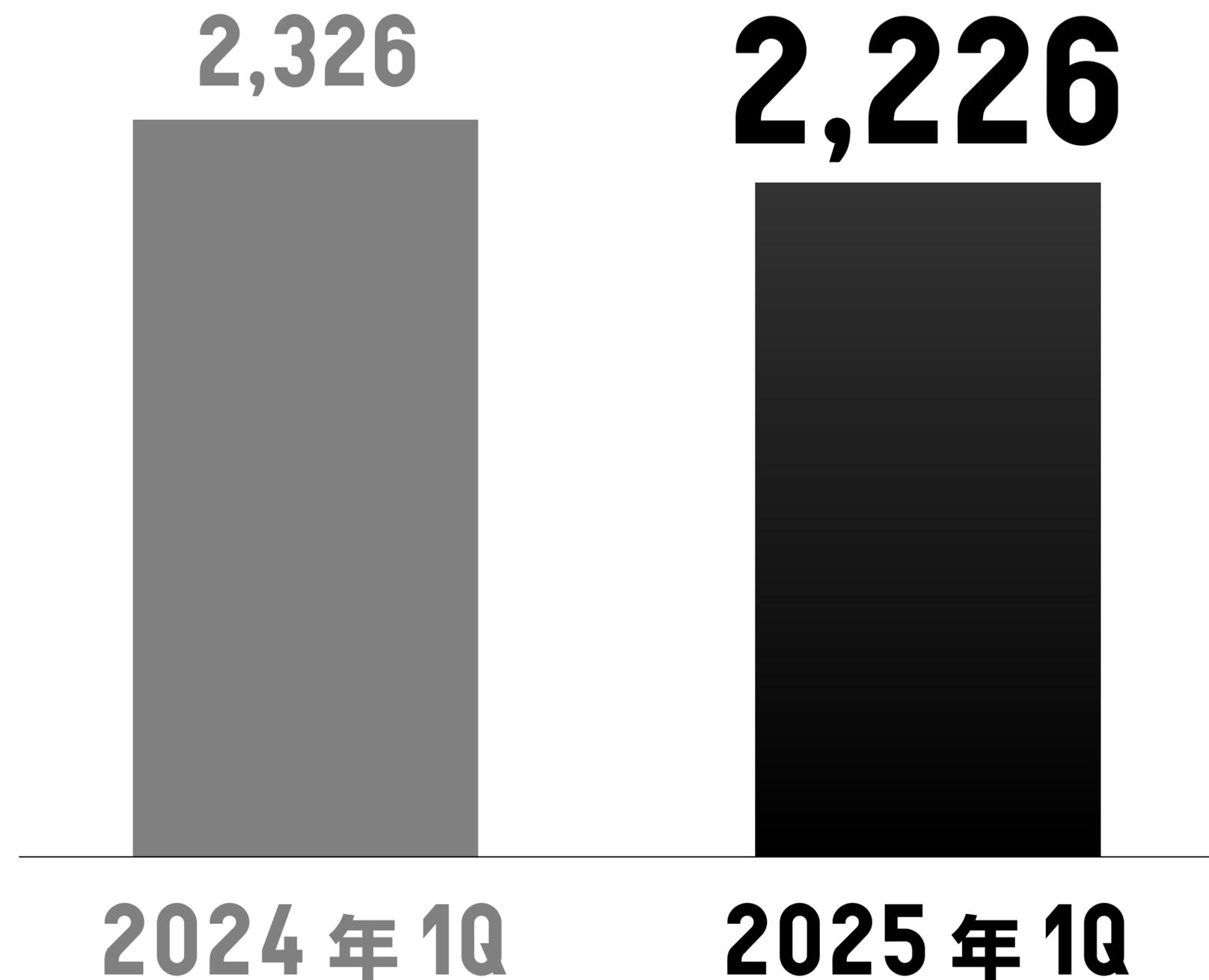
	今期1Q	前期1Q	前年同期比	
<b>2025年6月期 第1四半期実績</b>	売上 <b>2,226</b> 営業利益 <b>▲ 35</b>	売上 <b>2,326</b> 営業利益 <b>▲ 62</b>	<b>▲ 4.3%</b> —	<b>↑</b> 売上収益は前年同期と同水準 事業構造改革の効果により営業利益が改善
<b>DX事業</b>	売上 <b>1,110</b> 営業利益 <b>99</b>	売上 <b>1,136</b> 営業利益 <b>▲ 79</b>	<b>▲ 2.3%</b> —	<b>↑</b> スカラコミュニケーションズ、エッグの業績が順調 事業構造改革の効果により営業利益が大幅に黒字化
<b>人材事業</b>	売上 <b>189</b> 営業利益 <b>3</b>	売上 <b>262</b> 営業利益 <b>107</b>	<b>▲ 27.8%</b> <b>▲ 97.1%</b>	<b>↓</b> アスリートプランニングにおける一時的な人材不足により業績は想定を下回る
<b>EC事業</b>	売上 <b>562</b> 営業利益 <b>78</b>	売上 <b>582</b> 営業利益 <b>84</b>	<b>▲ 3.5%</b> <b>▲ 7.1%</b>	<b>↓</b> ブームの落ち着いた一部タイトル以外の主要タイトルは概ね順調に伸長
<b>金融事業</b>	売上 <b>309</b> 営業利益 <b>▲ 47</b>	売上 <b>303</b> 営業利益 <b>▲ 63</b>	<b>2.3%</b> —	<b>↑</b> 新商品の売れ行きが好調となり売上収益が増加 保有契約件数における新商品の割合が増加し営業利益が増加
<b>インキュベーション事業</b>	売上 <b>54</b> 営業利益 <b>▲ 49</b>	売上 <b>41</b> 営業利益 <b>▲ 75</b>	<b>30.9%</b> —	<b>↑</b> ソーシャルエックスの案件受注が好調 他赤字事業はコストコントロールにより赤字幅を縮小

# 連結業績

## コメント

主力事業で利益率の高い案件に注力したため売上収益は前期比で減少

## 売上収益 単位：百万円



※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

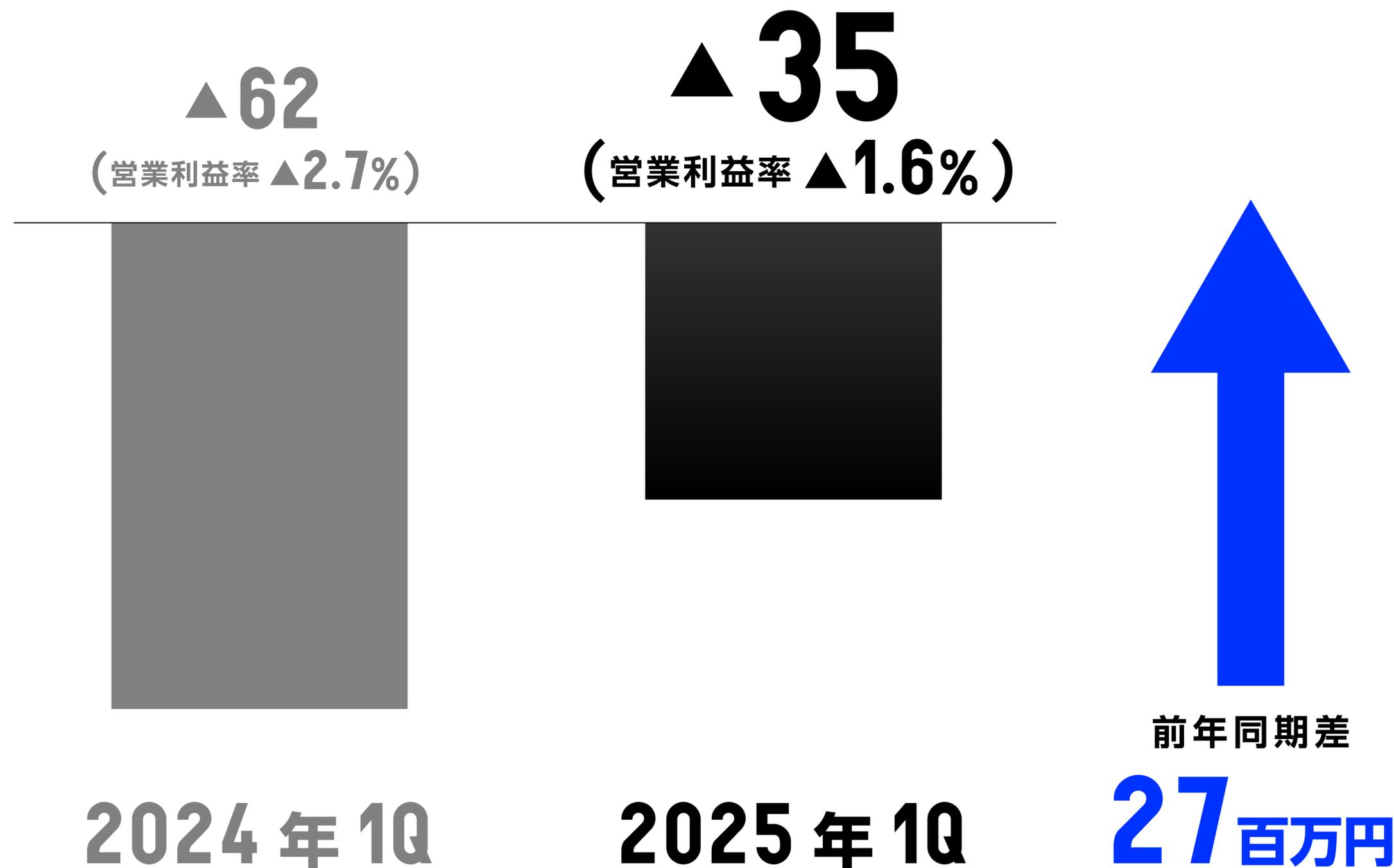
## 連結業績

## コメント

事業構造改革の進捗により  
営業利益率が1.1pt改善

通期で計画通りの黒字化を  
目指す

## 営業利益 単位：百万円

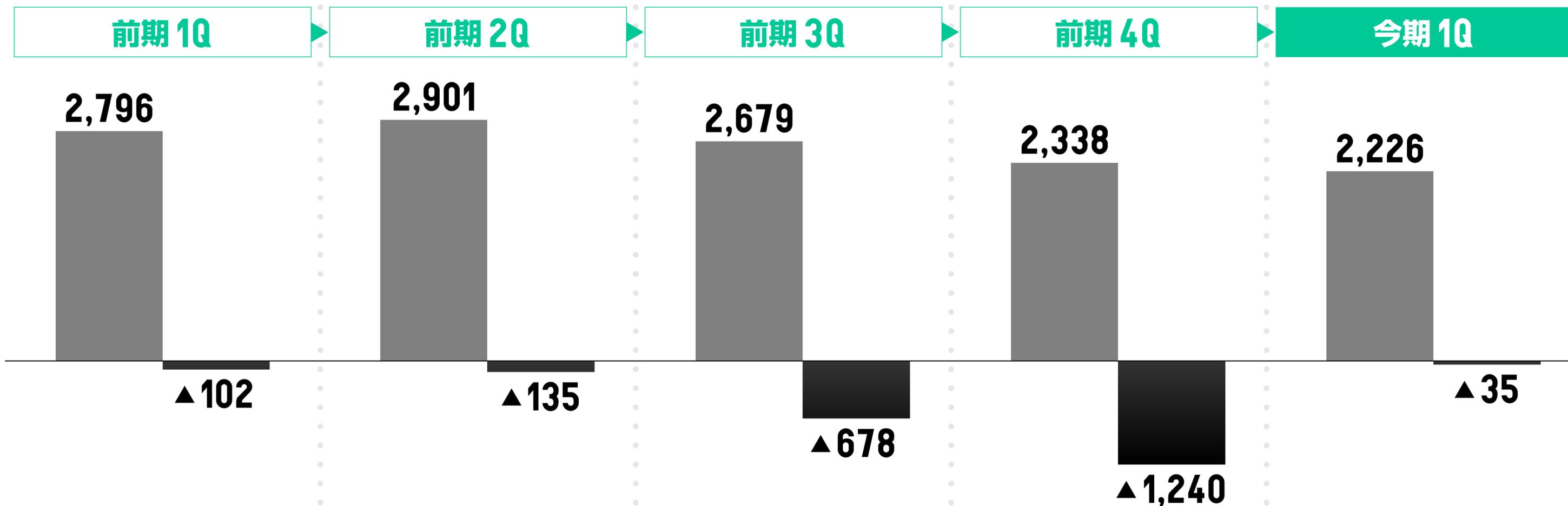


※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

# 収益改善の取り組みと四半期業績推移

単位：百万円 売上：■ 営利：■

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの四半期単独実績(非継続事業の控除なし)



## 収益改善の取り組み

■ 赤字事業の整理

■ 事業構造改革の検討開始

■ 事業構造改革の開始

■ 赤字事業の整理

■ オフィス解約等一時費用が発生

■ 赤字事業の整理

■ 合理化等の一時的費用が発生

■ 減損処理の発生

■ 赤字事業の整理

■ オフィス解約・合理化の効果でコスト削減

# CONTENTS

— 第1四半期 決算サマリー

→ **連結 業績報告**

— セグメント別 業績報告

— トピックス

— APPENDIX

# 四半期別 連結業績予想 および実績

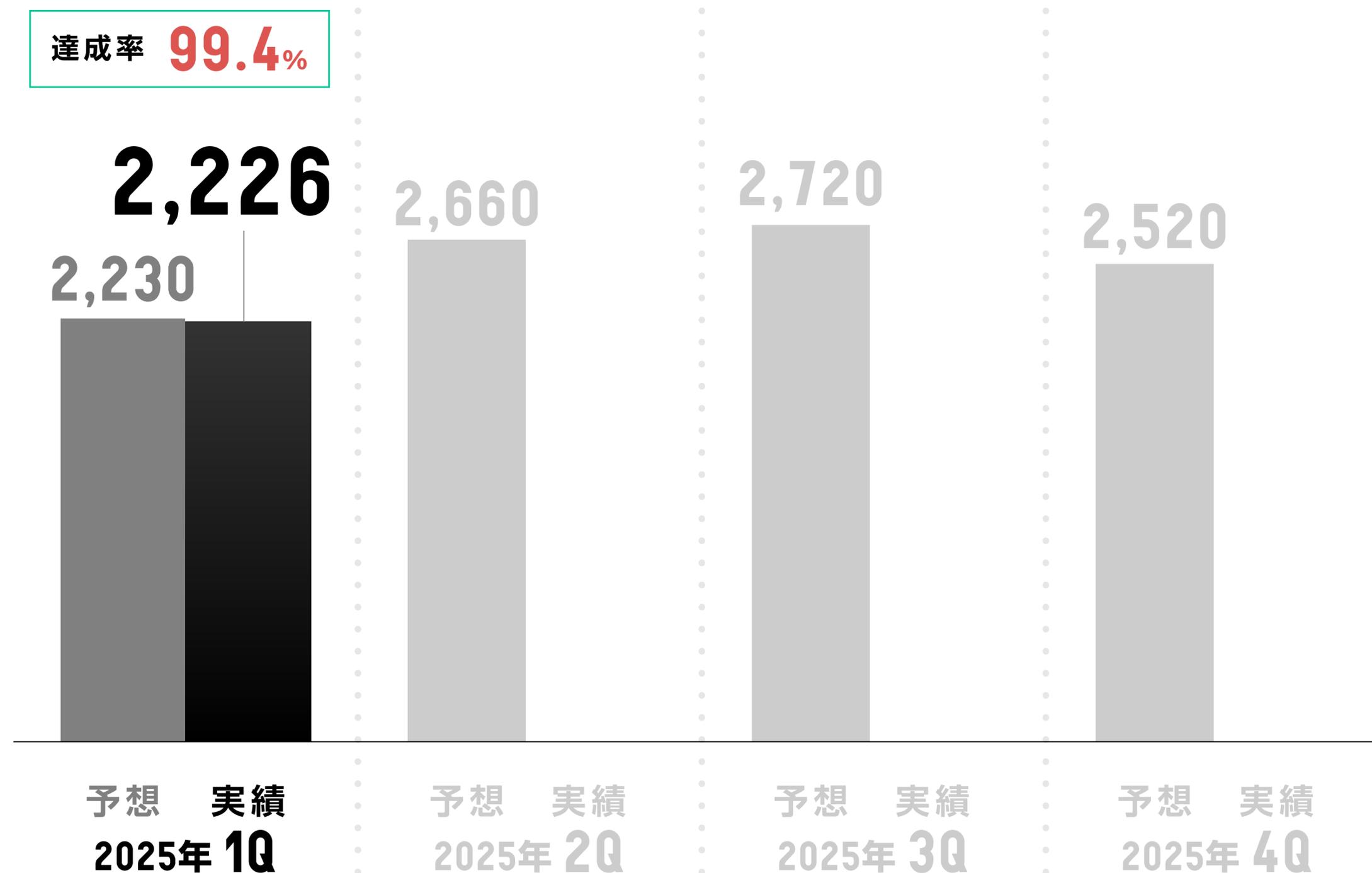
## コメント

概ね計画通りに進捗

業績の偏重する第2四半期以降での確実な達成を目指す

## 売上収益 単位：百万円

達成率 **99.4%**



※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

# 四半期別 連結業績予想 および実績

## コメント

コア事業は計画通りに進捗

ファンド事業の下振れ▲20百万円の影響により期初計画比▲15百万円

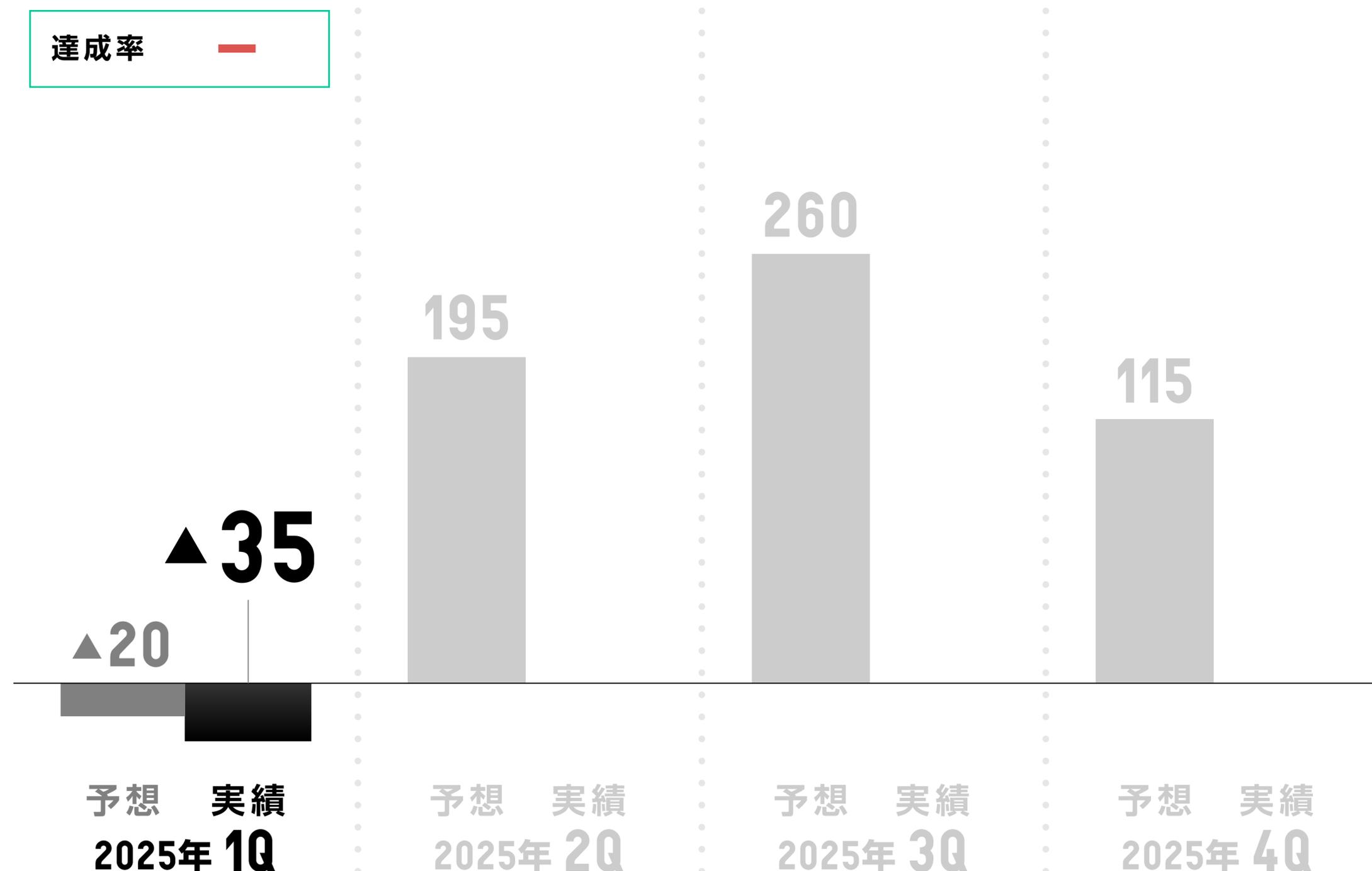
役員報酬の見直し等全社費用の削減が第2四半期以降の営業利益に寄与予定

次ページにセグメント別の内訳を記載

※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

## 営業利益 単位：百万円

達成率



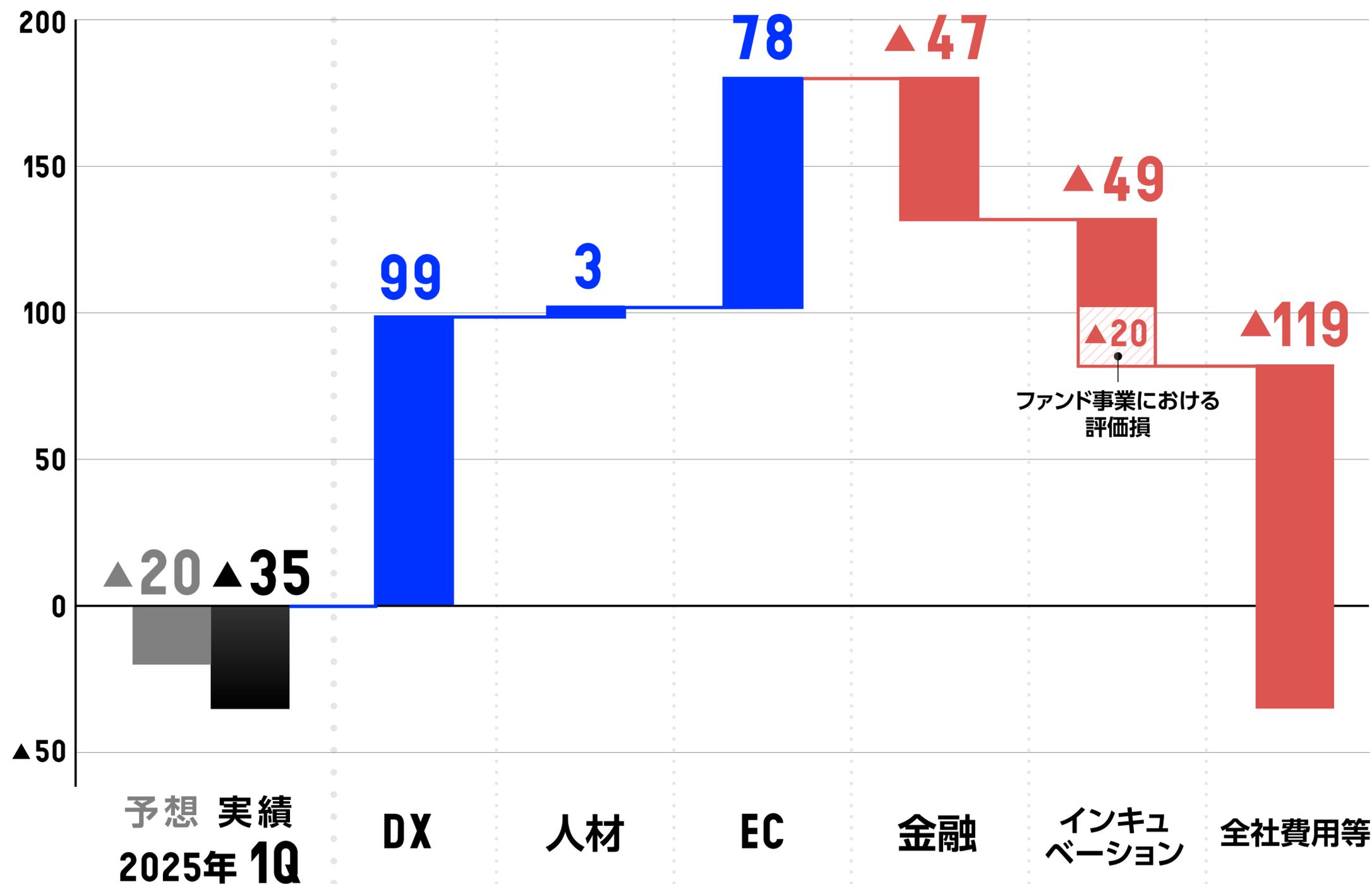
# 連結業績およびセグメント業績

## コメント

DX事業が大きく回復

赤字事業の赤字幅は抑制でき  
ており、事業構造改革の進捗  
による第2四半期以降の黒字化  
を目指す

## 営業利益 単位：百万円



※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

# CONTENTS

— 第1四半期 決算サマリー

— 連結 業績報告

**→ セグメント別 業績報告**

— トピックス

— APPENDIX

# セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

## コメント

売上収益は前年同期と同水準

事業構造改革の効果により  
営業利益が改善

## DX事業 単位：百万円

売上

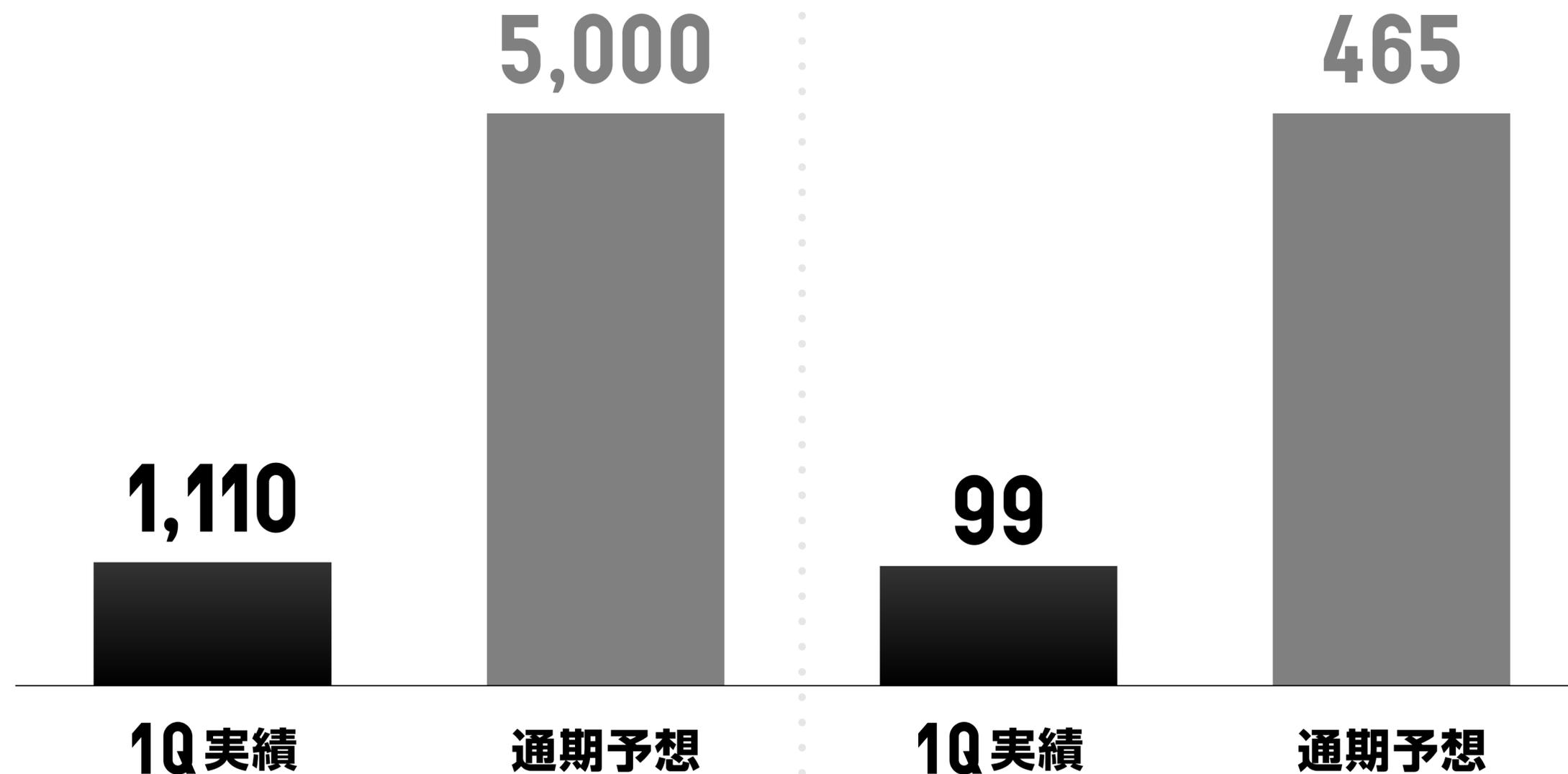
進捗率

22.2%

営業

進捗率

21.4%



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの  
第1四半期累計実績

# セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

## コメント

アスリートプランニングにおける紹介事業で、一時的な人材不足により成約率が低下し業績は想定を下回る

第2四半期以降のイベント事業による補填を目指す

今期を通じてコストコントロールおよび来期に向けた建て直しを図る

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

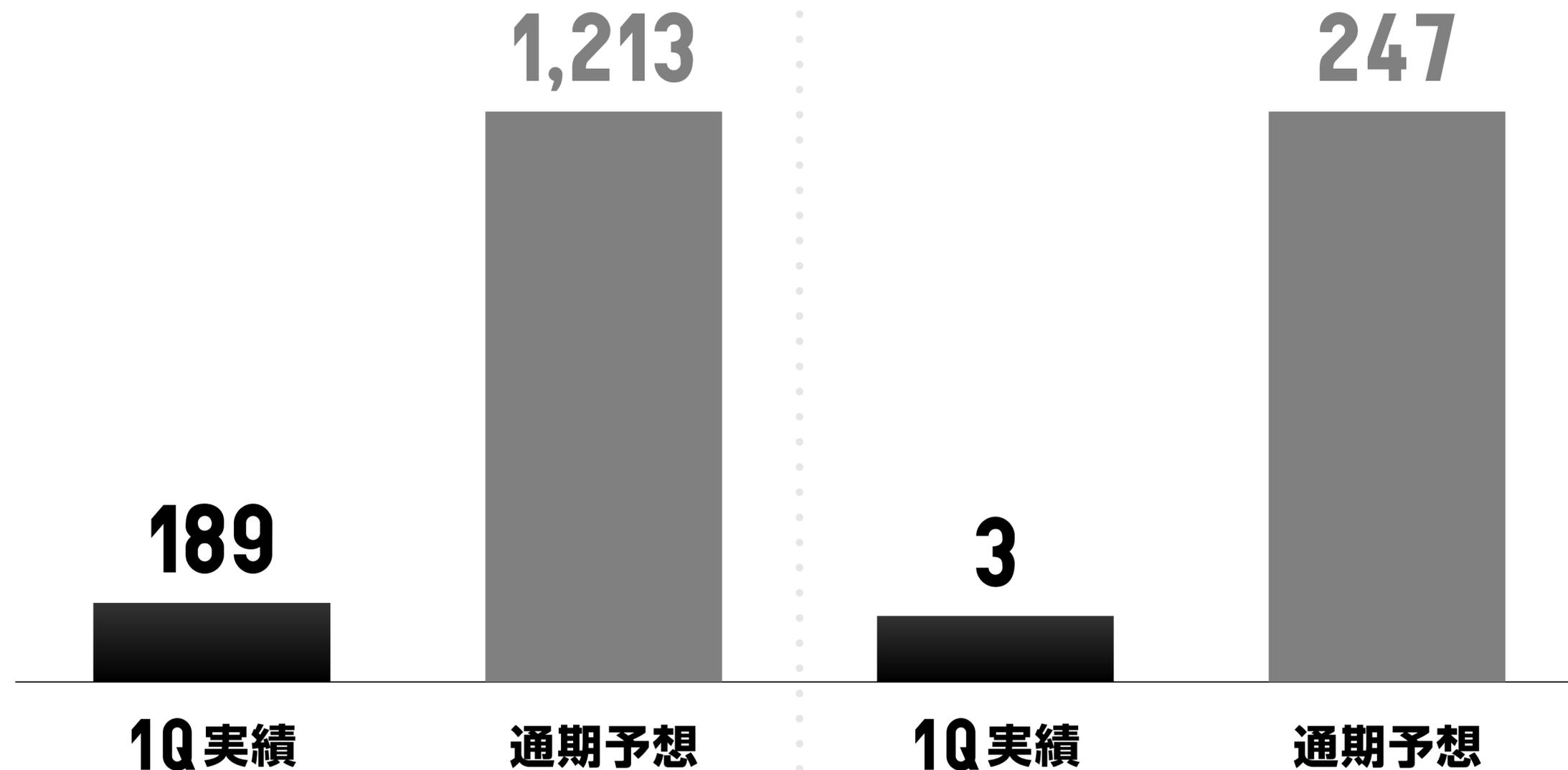
## 人材事業 単位：百万円

### 売上

進捗率 **15.6%**

### 営利

進捗率 **1.3%**



# セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

## コメント

一部TCGタイトルのブームが落ち着いたが他主要タイトルは概ね順調に伸長

TCGメーカーの年末商戦を逃さず通期予想達成確度を高めていく

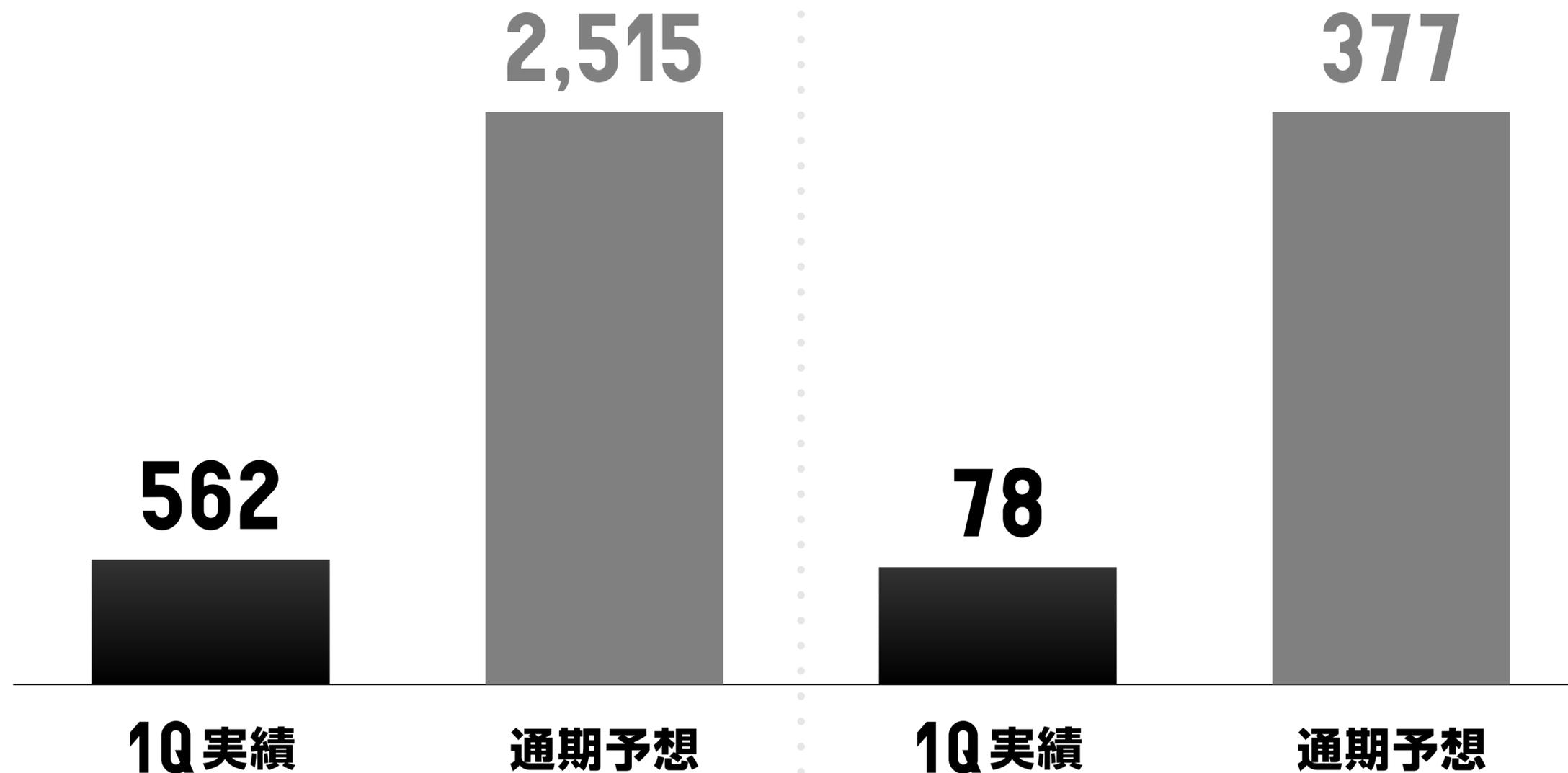
## EC事業 単位：百万円

### 売上

進捗率 **22.4%**

### 営利

進捗率 **20.9%**



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

# セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

## コメント

新商品の売れ行きが好調

さらなる赤字幅縮小を目指し  
旧商品から新商品への乗り換え  
比率上昇を図る

## 金融事業

単位：百万円

売上

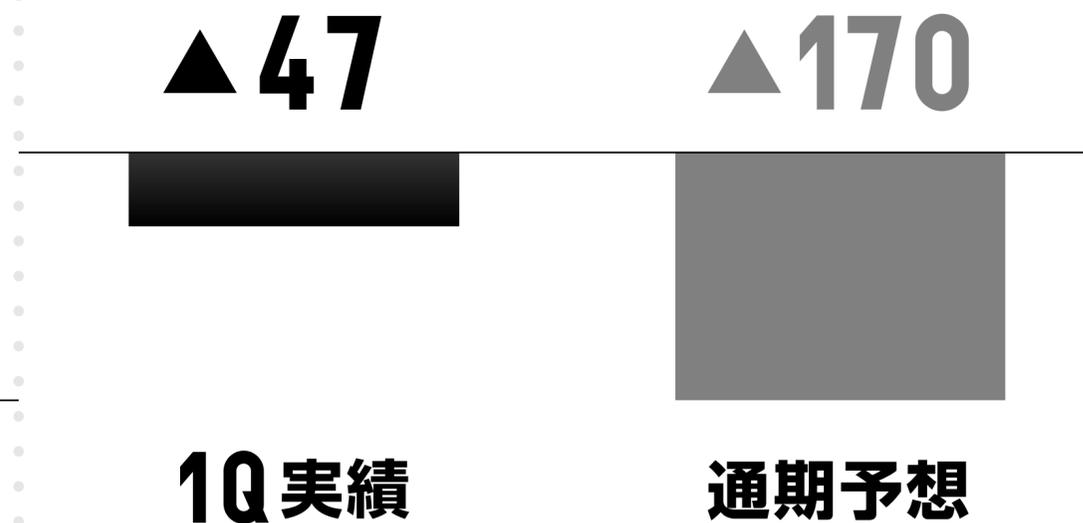
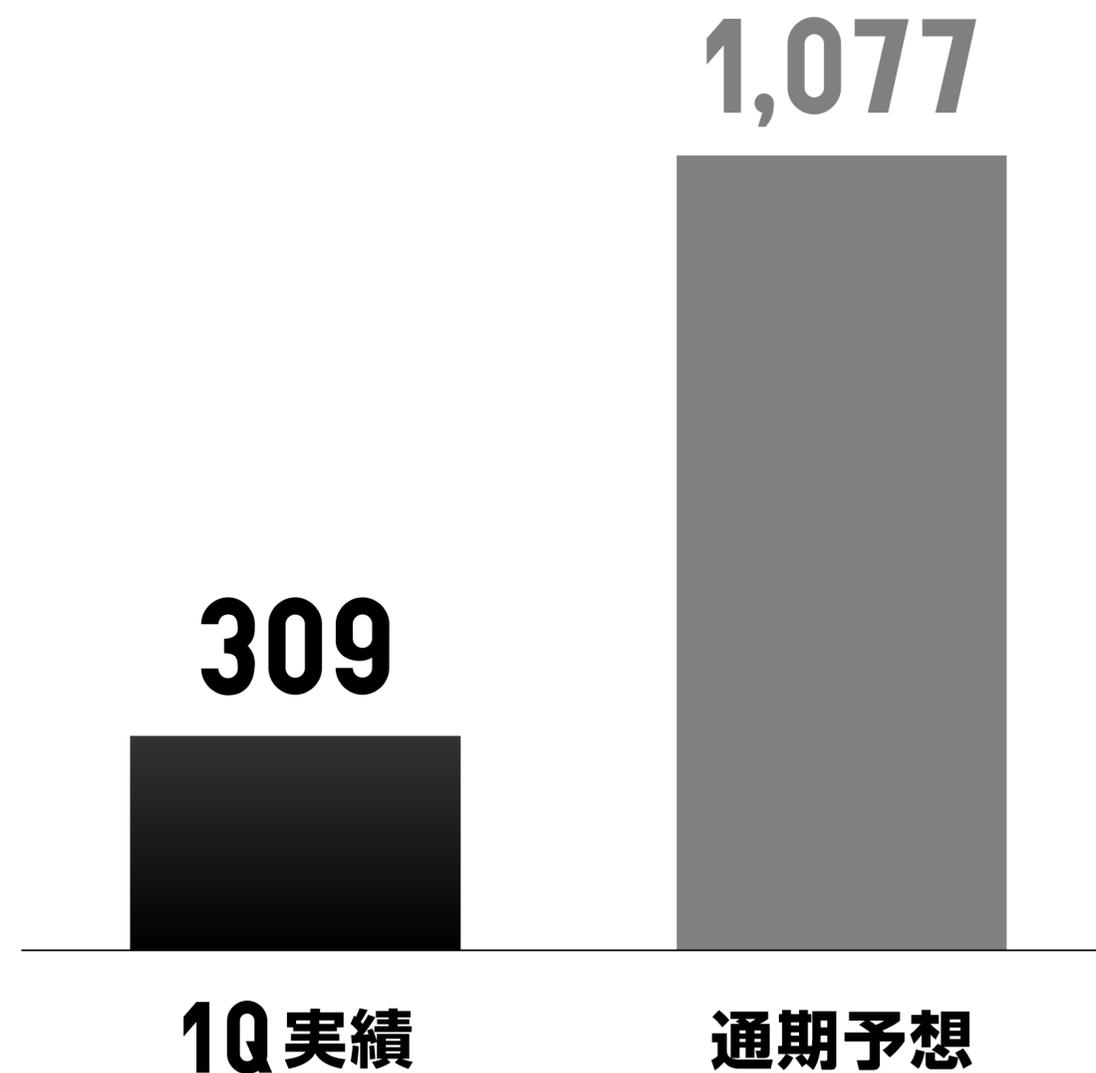
進捗率

28.8%

営業

進捗率

—



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの  
第1四半期累計実績

# セグメント別 2025年6月期 通期予想比グラフ

## コメント

ソーシャルエックスの案件受注が好調

他赤字事業はコストコントロールにより赤字幅を縮小

## インキュベーション事業

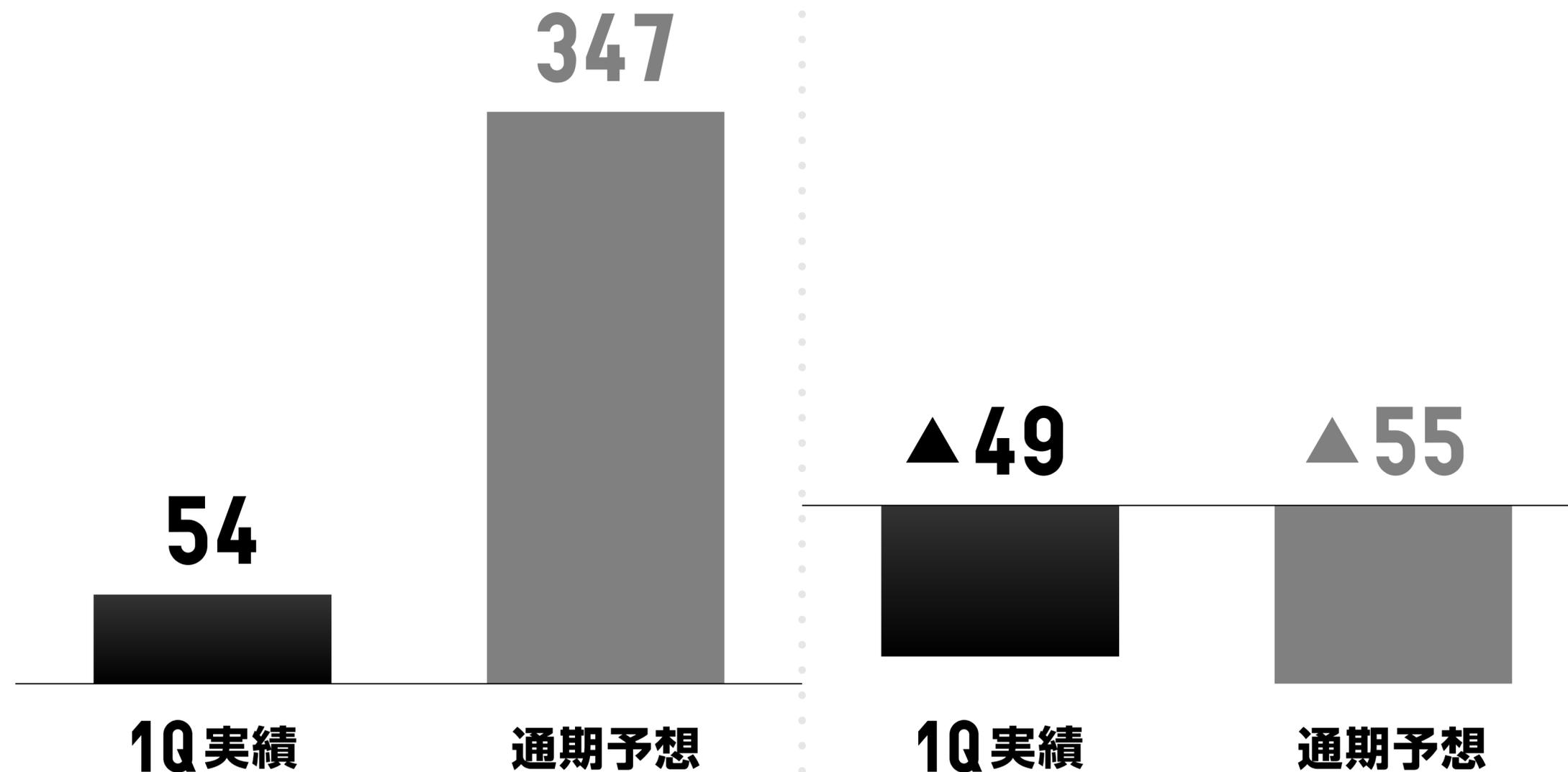
単位：百万円

売上

進捗率 **15.6%**

営業

進捗率 **—**



※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

## セグメント別業績報告 売上収益

単位：百万円

※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

事業	今期 1Q	前期 1Q	前年同期差	前年同期比
DX	1,110	1,136	▲ 25	▲ 2.3%
人材	189	262	▲ 72	▲ 27.8%
EC	562	582	▲ 20	▲ 3.5%
金融	309	303	6	2.3%
インキュベーション	54	41	12	30.9%

## セグメント別業績報告 営業利益

単位：百万円

※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

事業	今期 1Q	前期 1Q	前年同期差	前年同期比
DX	99	▲79	179	—
人材	3	107	▲104	▲97.1%
EC	78	84	▲6	▲7.1%
金融	▲47	▲63	16	—
インキュベーション	▲49	▲75	25	—

## セグメント別業績報告 営業利益 本社費配賦前

単位：百万円

※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

事業	今期 1Q	前期 1Q	前年同期差	前年同期比
DX	147	80	66	82.6%
人材	23	116	▲93	▲80.2%
EC	91	100	▲8	▲8.7%
金融	▲38	▲54	16	—
インキュベーション	▲49	▲73	23	—

# CONTENTS

— 第1四半期 決算サマリー

— 連結 業績報告

— セグメント別 業績報告

→ トピックス

— APPENDIX

## 顔認証システムで災害時における本人確認の実証実験へ



- 本システムは愛媛県伊方町と当社で立ち上げた高齢化の諸課題解決に取り組む「伊方町チャレンジフィールドプロジェクト」のひとつとして、共同企画・開発
- 災害時における、通常的身分証明書による本人確認が困難な状況下でも、顔認証のみで本人確認が可能

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2024/11-ikata/>

## 自治体の給付金事業を支援する『定額減税・給付金申請管理システム』の提供を開始



- 新サービスとして、定額減税調整給付金に対応した「定額減税・給付金申請管理システム」の提供を開始
- 住民の申請受付から振込までのプロセスをシステム上で進捗管理し、効率的な給付事業をサポートするクラウドサービス

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2024/11-kyufukin/>

## 自社開発のカード画像認識AIソリューションの実運用を開始



- これまで目視で行ってきたカード特定作業をディープラーニング画像解析にて特徴量判定を行うことで、大幅な生産性向上が可能
- 文字情報と画像特徴量を分けて認識・評価することで、十分な正答率を実現
- 今後は買取カードの査定業務への展開予定

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2024/11-spl/>



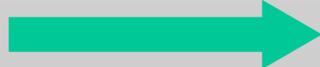
# CONTENTS

— 第1四半期 決算サマリー

— 連結 業績報告

— セグメント別 業績報告

— トピックス

 **APPENDIX**

# 会社概要

会社名	株式会社スカラ(東証プライム証券コード:4845)
所在地	東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ32F
設立年月日	1991年12月11日
事業内容	DX事業／人材事業／EC事業／金融事業／インキュベーション事業
従業員	452名(2024年9月末時点 連結)
平均年齢	36.1歳
資本金	1,794百万円
決算期	6月30日



## 決算説明資料 1Q FY2025

本資料には将来の予測に関する記述が含まれておりますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき下さい。

本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません。

本資料は監査法人による会計監査を受けておりません。